

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月16日
16時11分19秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

所属長名 岡田知之
担当者 池田貴之
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	019	アンフォーレ施設管理事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例			
備考				

【事業分析】

対象	施設利用者が
目的	快適な環境で施設を利用できるようになる。
手段	施設警備・設備点検・清掃等の維持管理、建築設備器具修繕等を実施します。
事務内容	光熱水費支払い、建築設備器具修繕、PFI事業者への施設維持管理業務委託、ネットワーク保守管理委託等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	148,353	163,510	136,476
事業費	141,423	156,580	130,176
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,842	2,164	2,001
一般財源	139,581	154,416	128,175
人件費計	6,930	6,930	6,300
正規（人）	1.10	1.10	1.00
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	アンフォーレ設備維持管理委託、アンフォーレネットワーク保守委託等	アンフォーレ設備維持管理委託、アンフォーレネットワーク保守委託、駐輪場屋根設置工事等	アンフォーレ設備維持管理委託、アンフォーレネットワーク保守委託等

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02556 アンフォーレ施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設管理に関するクレーム（意見等を含む）件数	件	20.00	20.00	5.00
		0.00	1.00	0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	700,000.00	1,000,000.00	1,000,000.00
		1,006,933.00	1,221,192.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入館者数の実績等を踏まえ、十分なニーズがあると考えます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標数値を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	PFI事業による維持管理計画を都度適正に見直しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模に見合った事業管理を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年6月にオープンし、2年目となりましたが、初年度を上回るご利用をいただくことができました。施設管理においては、要望の多かった既存駐輪場及びバイク置き場に屋根や照明設備、転倒防止策などの設置を行い、利用者の利便性の向上を図りました。引き続き、利用者の皆さまが快適に施設を利用できるよう、関連法令を遵守しながら、適切な維持管理・施設運営に努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

3頁
令和元年 8月16日
16時11分19秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

所属長名 岡田知之
担当者 池田貴之
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	003 経済				
項目(施策)	004 10都市基盤(市街地)				
施策の方針	002 都市拠点(JR安城駅周辺)の整備促進				
事務事業	020 まちなか賑わい創出事業				
事業期間	平成29年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	安城市中心市街地拠点施設条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・中心市街地拠点施設活用促進事業 ・南吉まちづくり推進事業				

【事業分析】

対象	安城市民及び市外住民が
目的	アンフォーレを有効活用し、多くの来館が生まれることで、まちなかの交流・賑わいが創出されるようになる。
手段	ホール等の交流多目的スペースを活用したイベント業務やイベントを実施する市民団体等のコーディネート業務等を行う指定管理事業、アンフォーレのPR、新美南吉等の地域資源を活用した回遊促進事業等を実施します。
事務内容	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	82,081	64,194	64,322
事業費	69,481	54,114	54,872
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	69,481	54,114	54,872
人件費計	12,600	10,080	9,450
正規(人)	2.00	1.60	1.50
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託、アンフォーレオープニングイベント運営委託、アンフォーレパンフレット作成委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等	交流多目的スペース及びイベント広場指定管理業務、安城ARナビ運用保守委託等

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134530 アンフォーレ課まちなか連携係
事務事業 02558 まちなか賑わい創出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
アンフォーレを会場とする事業数	件	160.00 654.00	700.00 1,919.00	2,000.00 0.00
アンフォーレ本館の年間入館者数	人	700,000.00 1,006,933.00	1,000,000.00 1,221,192.00	1,000,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の施設を活用した事業であり、市で実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市議会、地域商店街等からの施設有効利用の要望があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標数値を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を活用し、事業の効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	施設規模に見合った事業実施を図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成29年6月にオープンし、2年目となりましたが、初年度を上回るご利用をいただくことができました。エントランスやホールをはじめとした交流多目的スペースの稼働状況も初年度を上回るなど、市民の交流の場としての認知度が高まってきているものと考えています。今後、さらにまちなかの交流や賑わいを創出するため、アンフォーレを活用した事業展開を図っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館ICT活用事業

所属長名 岡田 知之
担当者 浅井 晶子
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	004	図書情報館ICT活用事業		
事業期間	平成26年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生 定住・移住促進
根拠法令等	図書館法、文字・活字文化振興法、安城市図書館の設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・図書情報館機能整備事業			

【事業分析】

対象	図書情報館利用者が
目的	必要な情報を得て知識を深めることができる。
手段	施設や機器を提供します。
事務内容	情報発信及び情報機器類の管理と利活用を行います。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	73,664	75,458	80,741
事業費	59,174	59,708	66,251
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,016	4,691	4,495
一般財源	56,158	55,017	61,756
人件費計	14,490	15,750	14,490
正規(人)	2.30	2.50	2.30
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等	図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等	図書館システム運用保守委託 情報機器類保守委託 利用者用パソコンデータベース ロボットプログラミング講座の実施等

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134540 アンフォーレ課図書情報係
事務事業 02577 図書情報館 I C T活用事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
自動貸出機利用率	%	80.00 88.10	82.50 86.13	85.00 0.00
ロボットプログラミング教室参加者数	人	30.00 31.00	25.00 25.00	15.00 0.00
施設利用率	%	50.00 39.96	50.00 53.13	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県の図書館もありますが、図書情報館独自の取り組みです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	図書貸出の80%以上が、ICT活用によるものです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	全ての指標で目標達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一部業務を民間に委託し、効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても、質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設利用率は、全体としての目標は達成し、グループ学習室は全て50%を超えましたが、ディスカッションルーム及び編集・録音スタジオの利用が伸び悩んでいます。利用者へのPRなどに努め、利用率の向上を図ります。 ロボットプログラミング教室は、民間の教室の増加及び学校での必修化に伴い市民ニーズの低下が予想されるので、規模を縮小しつつ継続します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月16日
16時13分58秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

所属長名 岡田 知之
担当者 稲垣 正典
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開		
事務事業	005	図書情報館資料貸出事業		
事業期間	昭和24年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	図書館を利用する市民が
目的	必要とする図書館資料の提供を受けられるようになる
手段	利用者のニーズに応じた図書館資料を迅速かつ的確に選定・収集し、または他の図書館との相互貸借により提供します。
事務内容	図書館資料の貸出、レファレンスサービス、図書館資料の選定・収集・装備、相互貸借、公民館図書室等への配送、図書館システムの使用（維持管理含む）等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	190,940	121,759	116,709
事業費	174,560	97,819	97,179
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	24	28	30
一般財源	174,536	97,791	97,149
人件費計	16,380	23,940	19,530
正規（人）	2.60	3.80	3.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務（派遣） 背ラベル貼付及び移転 業務委託	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務（派遣） あんステップ図書移転 業務委託	図書館資料の収集・整理・保存及び利用 レファレンス業務 公民館等図書及び学校 図書配送業務（派遣）

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02578 図書情報館資料貸出事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
市民1人あたりの図書年間貸出冊数	冊	10.50	10.70	10.70
		9.93	10.66	0.00
図書館等の実利用者数(単年度)	人	31,500.00	32,000.00	32,500.00
		34,619.00	32,942.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間貸出冊数・新規利用者カードの登録数等が大幅に伸びています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	年間貸出冊数・実利用者数ともに前年度の数値を上回っています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	雑誌スポンサー制度の導入により雑誌の蔵書冊数が増加しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
1次コメント (400文字)	市民1人あたりの図書年間貸出冊数、図書館等の実利用者数ともに前年度実績を上回りましたが、市民1人あたりの図書年間貸出冊数は目標値には達しておらず、今以上に質の高い図書館サービスを行うとともに、新たな利用者の開拓とリピート率の向上を図る必要があります。 また、前年度に引き続き、利用者のニーズに沿った蔵書の充実と窓口での接遇改善に努める必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

所属長名 岡田 知之
担当者 稲垣 正典
電話番号 0566-76-6111

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	004	14生涯学習			
施策の方針	005	新たな図書館サービスの展開			
事務事業	006	読書活動推進事業			
事業期間	昭和24年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	図書館法、文字活字文化振興法、子どもの読書活動の推進に関する法律				
備考					

【事業分析】

対象	より多くの市民が
目的	読書に親しみ、読書活動を通じて豊かな心を育むことができるようになる
手段	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが読書に親しみ、絵本の楽しさと豊かな感性を育むため、出前おはなし会等を開催します。 ・読み聞かせボランティアの養成とスキルアップの支援、駅前読書交流会を開催します。 ・保健センターの4か月児健診終了後に、読み聞かせの実演とともに、赤ちゃん向け絵本と新美南吉絵本大賞作品と一緒に配付する安城版ブックスタート事業を実施します。
事務内容	出前おはなし会・定期的なおはなし会等の開催、ボランティア養成・スキルアップ講座の開催、駅前読書交流会、安城版ブックスタート事業 等

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	15,690	26,053	22,300
事業費	6,870	11,563	6,550
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	308	1,218	1,686
一般財源	6,562	10,345	4,864
人件費計	8,820	14,490	15,750
正規(人)	1.40	2.30	2.50
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	読書活動の奨励 図書館行事(おはなし会等)の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉絵本大賞の実施	読書活動の奨励 図書館行事(おはなし会等)の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉絵本大賞作品の絵本化	読書活動の奨励 図書館行事(おはなし会等)の企画調整 講演会・講座等の開催 南吉出前授業の開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0001134550 アンフォーレ課図書サービス係
事務事業 02579 読書活動推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
図書館での「おはなし会」の参加人数	人	3,700.00 4,612.00	3,700.00 5,131.00	4,500.00 0.00
ボランティア養成・支援講座の開催回数	回	19.00 8.00	19.00 22.00	20.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	図書館法により各地方公共団体が図書館サービスを提供しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	図書館及び全地区公民館で定期的なおはなし会を開催しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	図書館及び全地区公民館で定期的なおはなし会を開催しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	読み聞かせボランティアと協働によりおはなし会を開催しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の公立図書館と比較しても質の高いサービスを提供しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	図書館での「おはなし会」の参加人数、ボランティア養成・支援講座の開催回数は前年度実績、目標値を大きく上回りましたが、活動する読み聞かせボランティアの高齢化や会員の減少が進んでいるため、現行のメンバーのスキルアップだけでなく新たなメンバーの養成にも努める必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。